

## 石川県立野球場の平成18年度管理状況

施設所管課	教育委員会 スポーツ健康課
指定管理者	財団法人 石川県民ふれあい公社 理事長 栗原 正一
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

### (1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 (不十分な場合、その理由、指摘事項を記入)
使用する者への利便の提供に関する業務	施設の使用受付、利用者の苦情・意見の把握・対応 ・利用者より排水の詰まりなどの意見等を管理担当者が聞き入れ、修繕等を実施している。 その他特記事項 ・プロ野球公式戦や高校野球等の試合を行うのに相応しいグラウンド整備や施設の管理に努めている。
利用の促進に関する業務	施設の情報提供、広報、広告 ・ホームページに、西部緑地公園内の産業展示館及び陸上競技場と共に2ヵ月間の行事予定を掲載。 ・野球協会等と連絡を取り、施設の空き状況を積極的に情報提供することで施設利用を促進。
使用の許可に関する業務	使用許可、使用料の徴収、納入 ・使用許可の件数( (2) 参照) ・使用料の収入実績( (3) 参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃 : 職員が日頃より場内の美化に努めており、廊下のワックスがけやダッグアウト及びロッカールームの清掃などを日々行っている。スタンドは主催者に大会等終了時の清掃をお願いしている。 保守点検 : スコアボード・合併処理施設・機械設備等の保守点検や管理業務は高い専門知識を持つ業者に外部委託している。 警備 : 外部委託を行い、西部緑地公園内全ての施設を包括的に実施している。 小規模修繕 : トイレ漏水、給水ポンプ、消防設備、照明塔ランプ安定器取替、合併処理槽修繕など。
(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・危機管理マニュアルを策定し、防災訓練を実施している。 個人情報の管理状況 ・基本協定(個人情報の取扱いに係る特記事項)に基づき、管理している。

( 2 ) 施設の利用状況

利用指標 ( ( 設定している場合 ) 利用人数、稼働率などの数値目標 )

指標	H 1 7 年度 ( 参考 )	H 1 8 年度	前年度比	増減理由
利用者数 ( 人 )	12,404	23,740	191.4%	全日本大学準硬式野球大会の開催等、野球協会等への利用促進

使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
球場	4 6	0	
ブルペン	6	0	

( 3 ) 使用料の収入実績

使用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
球場	2,032 千円		
スコアボード	306 千円		
照明塔	1,416 千円		
ブルペン	11 千円		

( 4 ) 収支決算

( 千円 )

収入		支出	
管理料	39,653	人件費	18,075
		光熱水費	8,947
		修繕費	1,933
		施設管理委託料	6,606
		その他	3,926
合計	39,653	合計	39,487
収支差額	166		

( 5 ) その他、県が必要と認める事項 ( 管理の実態を把握するために必要な事項 )

利用者からの苦情、要望

特になし

事故、故障等

年月	内容	対応
平成 18 年 7 月	高校野球地方大会決勝戦にてフェンス倒壊	関係者と協議し、早急に復旧工事を実施。また、再発防止対策として、フェンスへの寄り掛かり禁止等の注意喚起を強化した。

その他報告事項など

特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取組みが行われているか。	B	利用者の意見等を直接聞き入れ、早急な修繕等を行うなどの管理運営に活かすことでサービスの質を向上させている。 グラウンド整備に精通した職員を配置し、競技運営に協力している。
利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	指定管理者として施設の使用許可権限を与えられたため、施設の空き状況を利用者や野球協会等に提供するなどの利用促進を図ることで、利用者数が前年を大きく上回っている
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	野球場の管理運営に関する専門的知識や経験を活かし、仕様書等に基づき適切な管理が行われている。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	非常時の連絡体制やマニュアルが定められ、安全対策が適切である。
適切な管理運営を行う組織・体制か。	B	適切な職員の配置がなされており、業務に関する研修・講習が十分なされている。
その他、必要と認める事項(例:苦情処理、個人情報保護)	B	個人情報については基本協定に基づき、適切な管理が行われている。
総合評価	B	野球の競技力向上や県民がより野球に親しみやすい環境づくりに基づいた管理運営がなされており、今後も専門的知識や経験を活かした管理を期待する。

評価基準

- A(優): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B(良): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C(可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D(不可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A(優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B(良): 適正である
- C(可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D(不可): 改善が必要である

( 7 ) 助言・指摘事項

北信越BCリーグのスタートを踏まえ、施設の情報提供、広報、広告活動に対しより一層の創意工夫をもってのぞまれない。また、快適な施設利用が行えるようグラウンド整備や施設の運営管理にも尽力いただきたい。さらに、施設の安全管理には万全を期し安心して利用できる施設運営に努めていただきたい。